

## R1 年度 第 1 回理事会議事録

日 時 : R1 年 5 月 17 日(金) 19 : 00 ~

場 所 : 長崎大学医学部保健学科

出席者 : 中野, 片岡, 坂本, 矢野, 渋谷, 本田, 大賀, 小路永, 吉田, 松崎, 吉野, 沼田, 井上, 竹内

欠席者 : 池山, 沖田, 池田, 松本, 原田, 田中貴, 古賀, 川副, 古川, 松木, 松尾, 大石, 平瀬, 浜本, 坂井, 城谷, 田中陽, 中川

議 題 :

### 1. R1 年度前期事業計画

#### 1) 事務局 :

#### ① 会員動向の把握(正会員 613 名, 準会員 80 名, 合計 693 名)

正会員 (613 名)

1 期 17 名, 2 期 14 名, 3 期 22 名, 4 期 21 名, 5 期 17 名, 6 期 22 名, 7 期 17 名, 8 期 20 名, 9 期 21 名, 10 期 21 名, 11 期 16 名, 12 期 20 名, 13 期 20 名, 14 期 20 名, 15 期 16 名, 16 期 22 名, 17 期 19 名 (医療短大 : 325 名)

保 1 期 18 名, 保 2 期 21 名, 保 3 期 21 名, 保 4 期 20 名, 保 5 期 18 名, 保 6 期 18 名, 保 7 期 21 名, 保 8 期 20 名, 保 9 期 15 名, 保 10 期 18 名, 保 11 期 18 名, 保 12 期 19 名, 保 13 期 16 名, 保 14 期 14 名 (保健学科 : 257 名)

院生 1 期 5 名, 院生 2 期 8 名, 院生 3 期 1 名, 院生 4 期 2 名, 院生 5 期 4 名, 院生 6 期 1 名, 院生 7 期 5 名, 院生 8 期 2 名, 院生 9 期 0 名, 院生 10 期 1 名, 院生 11 期 1 名, 院生 12 期 1 名 (院生 : 31 名)

準会員 (80 名)

保 15 期 18 名, 保 16 期 21 名, 保 17 期 17 名, 保 18 期 19 名,  
院生 12 期 2 名, 院生 13 期 2 名, 院生 14 期 1 名

#### ② 理事会・総会の開催

#### 2) 学術部 : R1 年度卒後セミナー

平成 30 年度卒後セミナー参加者 会員 : 63 名、非会員 : 5 名、準会員 : 22 名

#### 3) 厚生部 : R1 年度懇親会の開催

#### 4) 広報部

##### ① ニュース担当 : 同門会ニュース第 23 号の発行 (田中陽理)

巻頭言 : 矢野雄大先生

特別寄稿 : 平瀬達哉先生 田中陽理先生

学会報告 :

セミナー報告 : 保 13 期 竹下いづみ先生

- ② マルチメディア担当：同門会ホームページの管理・運営及びコンテンツの更新等
- ・ホームページの更新の継続
  - ・新しく Facebook の運用を開始。担当：古賀
    - 今年度中に開始予定。
    - ・ベースは長崎大学作業療法同門会と類似したものでいいのではないかと。
    - ・内輪でやっている勉強会など、広めてほしいものがあれば活用。
    - ・誰でも自由に投稿できるようにするのではなく、井上先生・古賀先生が投稿内容は管理し、承認後に投稿。
    - ・内容：卒後セミナーの宣伝、同門会員が大会長 or 役員を務める学会の告知など学術的な内容の投稿

5) 機関誌編集部：理学療法探求第 22 巻の発行、PDF 化

- ・ 本年度より機関誌「理学療法探求」の電子書籍化を開始する。
  - ・ 電子書籍化に係る原稿作成に関しては引き続き「株式会社 昭和堂」に依頼する。
  - ・ 電子書籍化した機関誌は「株式会社メテオ（メディカルオンライン）」が管理する「長崎大学理学療法学同門会の専用ページ」で閲覧・ダウンロードが可能となる。その際、会員専用 ID とパスワード（全会員で共通）が必要となるため、郵送等により会員に周知する。
  - ・ 費用について、PDF での機関誌の作成は 10-13 万円、メディカルオンラインのシステム使用料は無料である。
- ・ 課題：同門会ニュースの取り扱いをどうするか。  
→議事録は同門会ホームページに、それ以外（同門会ニュース、学術面）をメディカルオンラインに送る。

原稿の締め切りを 7 月末

発刊のタイミングを 12 月 1 日とし、卒後セミナーの案内を送る際にパスワード、発刊の案内を同封する。パスワードの変更日、閲覧可能日を 12 月中旬～下旬にする。記念号は冊子作成  
抜き刷り 30 部程度

2. R1 年度会計報告

R1 年 5 月 14 日現在

<一般会計>

【収入の部】

同門会費 330,000 (11 名分)

合計 330,000

【支出の部】

合計 846 (消耗品)

846

総残高 1,277,815

<特別会計>

【収入の部】

合計 0

【支出の部】

合計 0

総残高 2,255,444

卒後セミナーの参加費 会員：2000円 非会員：3000円

→金額は今後も継続

記念号（10年毎）の発刊：紙媒体で発行

### 3. その他

平成30年度会計報告および令和元年度予算案（H31.3.31現在）

平成三十年  
度  
会  
計  
報  
告

一般  
会  
計

【収入の部】

項目	予算		備考
同門会費	600,000	705,000	会員24名
メディカルオンライン		7,841	
医学中央雑誌		1,296	
卒後セミナー参加費	150,000	141,000	会員63名 非会員5名 準会員22名
預金利息		14	
特別会計からの繰越金	0	0	
総合計	750,000	855,151	

【収支】

項目	予算	
前年度残高	1,374,563	1,374,563
今年度収入	750,000	855,151
今年度支出	850,000	1,281,053
収支	-100,000	-425,902
総残高	1,274,563	948,661

【支出の部】

項目	予算		備考
印刷代	300,000	318,060	
消耗品	13,500	8,218	
通信運搬費	120,000	183,792	
講師謝金	80,000	80,000	
旅費交通費	100,000	72,510	
施設使用料	0	0	
食料費	30,000	10,312	
雑費	115,000	143,374	入学記念品(5年分)を含む
報償費	66,500	74,500	
設備費	25,000	15,724	
特別会計への繰越金	0	374,563	
総合計	850,000	1,281,053	

特別  
会  
計

【収入の部】

項目	予算	
一般会計からの繰越金	0	374,563
預金利息		15
その他		0
総合計	0	374,578

【収支】

項目	予算	
前年度残高	1,880,866	1,880,866
今年度収入	0	374,578
今年度支出	0	0
収支	0	374,578
総残高	1,880,866	2,255,444

【支出の部】

項目	予算		備考
一般会計への繰越金	0	0	
総合計	0	0	

令和元  
年  
度  
予  
算  
案

一般  
会  
計

【収入の部】

項目	予算案	備考
同門会費	540,000	会員18名分
卒後セミナー参加費	150,000	
総合計	690,000	

【収支】

項目	予算案
前年度残高	948,661
今年度収入	690,000
今年度支出	690,000
収支	0
総残高	948,661

【支出の部】

項目	予算案
印刷代	150,000
消耗品	13,500
通信運搬費	160,000
講師謝金	80,000
旅費交通費	100,000
施設使用料	0
食料費	30,000
雑費	15,000
報償費	66,500
設備費	25,000
特別会計への繰越金	50,000
総合計	690,000

特別  
会  
計

【収入の部】

項目	予算案	備考
一般会計からの繰越金	50,000	
総合計	50,000	

【収支】

項目	
前年度残高	2,255,444
今年度収入	50,000
今年度支出	0
収支	50,000
総残高	2,305,444

【支出の部】

項目	予算案	備考
一般会計への繰越金	0	
総合計	0	

## R1 年度 執行部・理事・各期代表者

執行部			
役	名前	所属	卒業期
会長(理事)	中野 治郎	長崎大学生命医科学域・保健学系	9期
副会長(理事)	平瀬 達哉	長崎大学生命医科学域・保健学系	13期
監事	田中 貴子	長崎大学生命医科学域・保健学系	5期
監事	川副 巧成	クローバー	7期
会計(理事)	渋谷 美帆子	長崎記念病院	保4期
書記(理事)	矢野 雄大	長崎大学病院	保3期
書記(理事)	小路永 知寿	長崎原爆病院	保8期
事務局長	片岡 英樹	長崎記念病院	14期
学術部長	坂本 淳哉	長崎大学生命医科学域・保健学系	16期
厚生部長	大賀 智史	長崎原爆病院	保6期
広報部長	井上 恒平	長崎大学病院	保6期
機関紙編集部長	本田 祐一郎	長崎大学病院	保4期
各期代表			
卒業期	氏名	所属	担当
1期	池山 睦子	光晴会病院	
2期	沖田 実	長崎大学生命医科学域・保健学系	
3期	池田 章子	重工記念長崎病院	
4期	松本 真一郎	徳洲会病院	
5期	田中 貴子	長崎大学生命医科学域・保健学系	監事
6期	原田 直樹	長崎北病院	
7期	川副 巧成	クローバー	監事
8期	古川 裕	上戸町病院	
9期	中野 治郎	長崎大学生命医科学域・保健学系	理事・会長
10期	松木 八重		
11期	松尾 亜弓		
12期	大石 麻衣子		
13期	平瀬 達哉	長崎大学生命医科学域・保健学系	理事・副会長
14期	片岡 英樹	長崎記念病院	事務局長
15期	中村真須美	重工記念長崎病院	理事
16期	坂本 淳哉	長崎大学生命医科学域・保健学系	学術部長
17期	濱本 寿治	百合野病院	
保1期	坂井孝之	道ノ尾病院	
保2期	城谷 武明	三原台病院	
保3期	矢野 雄大	長崎大学病院	理事・書記
保4期	渋谷 美帆子	長崎記念病院	理事・会計
保5期	田中 陽理	長崎記念病院	理事
保6期	大賀 智史	長崎原爆病院	理事・厚生部長
保7期	古賀 彩佳	長崎諫早原爆病院	理事
保8期	小路永 知寿	長崎原爆病院	理事・書記
保9期	吉田果央梨	長崎原爆病院	
保10期	松崎 敏朗	長崎原爆病院	理事
保11期	中川 晃一	長崎記念病院	
保12期	吉野 友恵	保善会田上病院	
保13期	沼田 未来	井上病院	
保14期	竹内 里奈	長崎大学病院	

## 平成 30 年度卒後セミナーアンケート

アンケート総数: 32				●本日のセミナーはいかがでしたか？					
	男性	女性	総数	非常に良かった	やや良かった	普通	あまり良くなかった	全くよくなかった	記載なし
医短1～6期	0	2	2		2				
医短7～12期	0	4	4	4					
医短13～17期	2	1	3	3					
保健1～5期	2	1	3	3					
保健6～10期	6	2	8	7	1				
保健11～14期	3	4	7	7					
準会員	0	5	5	5					
修士1～11	1		1	1					

### ●同門会卒後セミナーにて今後取り上げてほしいテーマ

医短7～12期	・コミュニケーションスキルは汎用性があると思う。機会があれば取り上げてほしい。
医短13～17期	・リハ栄養について ・合宿によるPT評価、アプローチの実技学習
保健6～10期	・各病院施設で行っていることの情報共有をグループワーク方式で
保健11～14期	・エンドオブライフケアについて ・退院支援におけるソーシャルワーカーの方のお話や、退院後の生活における訪問看護の方のお話を聞いてみたいです
準会員	・認知症の方への理学療法士としての関わり方とか、プログラムの内容で取り入れるものがあるのか知りたいです

### ●同門会に企画してほしいイベント

医短13～17期	・新年会や忘年会
----------	----------

### ●その他、同門会に対するご意見ご要望

医短7～12期	・SNSを利用した情報発信があると、会員の方も気軽に情報を得ることができるのかなと思いました(もうすでにやっていたら申し訳ありません)
医短13～17期	・ありがとうございました。 ・各々忙しい業務の中、役員の方々には様々な活動に取り組んで頂き、感謝しています。 ・いつも運営におかれまして、執行部の皆様方には厚く御礼申し上げます。今後ともよろしく願いいたします。

●本日のセミナーはいかがでしたか？		
	非常に良かった	やや良かった
医短1～6期		・とても勉強になる内容だったのですが、スキルが伴わないと悩みました。
医短7～12期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段の生活、人間関係にも活用できそうな内容で、大変興味深く受講することができました。</li> <li>・認知行動療法について具体的な話が聞けて、大変興味深かった。普段何気なくやっているコミュニケーションの理論付けができて面白かった。問題の整理(患者だけでなく)に援用できそうで面白い。</li> <li>・長期化するリハビリへの依存状態から、主体的に日常生活を改善しながら、リハビリからの卒業へつなげていけるとよいなと思いました。</li> <li>・元々、心理系に興味があったので、対象者とラポールを形成するためのポイントを具体的に知ることができて、大変勉強になりました。今後、治療場面で生かしていきたいと思いました。</li> </ul>	
医短13～17期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性痛に対して認知行動療法が有効なことは知っているが、どんな風に進めていくかがわからなかったため、勉強になった。</li> <li>・実際の心理教育場面を見せてくれて、それに対して解説していただいたことがすごくよかったです。できる範囲で取り入れていきたいと思います。</li> <li>・基本的コミュニケーションスキルからCBTへのプロセスの具体性が大変理解でき充実できました。慢性疾患～緩和ケアのクライアントへの介入手法として、実用的に取り組んでいこうと感じました。大切なのはコミュニケーションにおける「プロセス」「コーチング」であることを学びました。</li> </ul>	
保健1～5期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・よくいわれるコミュニケーションスキルというものが具体的なテクニックとしてよくわかりました。</li> <li>・患者さんとのコミュニケーションを通じて、もっとできることがあると気づかされました。今後の臨床に十分に活かせる講演でした。</li> <li>・臨床で役立つ内容であった。</li> </ul>	
保健6～10期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に慢性痛の方との関わりで、認知変容に悩んでいたことがあったのでとてもわかりやすかったです。</li> <li>・コメディカルスタッフとして重要なコミュニケーションスキルについて聞けたから</li> <li>・明日から使える(使えなくても考え方が変わる)方法がわかったから</li> <li>・臨床で活かせると思ったから</li> <li>・自分の診療の問題点を振り返ることができました。日々の診療で生かしていきたいと思います。</li> <li>・今までコミュニケーションの方法についてあまり注意できていなかったため、今日を機に患者さんとのコミュニケーションスキルが大きく上がったように感じる。</li> <li>・行動変容などCBTに必要な知識やコミュニケーションを学ぶことができた。</li> </ul>	・CBTを詳しく説明してくれました
保健11～14期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CBTについては講義で習っていたが、細かい方法やPointは知らなかったため、今回は一つ一つ仕組みやポイントを実際の動画を見ながら解説していただいたのがすごくわかりやすかったです。</li> <li>・具体的な目標設定のプロセスを知ることができ、活用していきたいと思いました。</li> <li>・現在CBTの必要性がいわれっていますが、どういうものなのか。どういう風に導入すればいいのかわかりませんでした。今回のセミナーを聞いて、患者自身の言葉を引き出す必要があるし、それには言葉や会話の順番が大切だということも学びました。</li> </ul>	
準会員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者との会話でどのように情報を引き出すのか、もやもやしていた部分がすっきりできたように感じました</li> <li>・認知行動療法の難しさも感じました。まず認知行動療法を行っていくにも、まず基盤となるコミュニケーションスキルがないとうまくできないということも学べました。</li> <li>・授業で学べないことが学べて、認知行動療法について、言葉は何度も聞いたことがあるが、具体的にどのようなことをするのか学ぶことができた。また、認知行動療法のポイントや注意すべき点についてわかった。</li> <li>・認知行動療法について詳しく知ることができた。名前くらいしか知らなかったがその概念や考え方について詳しく学べた。</li> <li>・CBTに対して、ここまで深く抗議していただいたのは初めてで、これから先、臨床に出たt期の患者さんとの会話の中で役に立つと思った。</li> </ul>	